

戦後2番目の雨量を記録しましたが、遊水地などが効果を発揮。

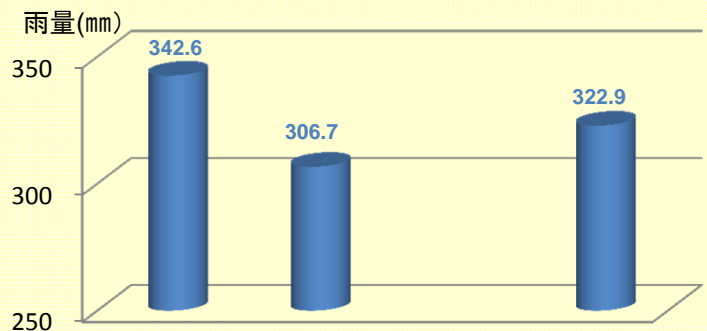
- 平成26年台風18号では、鶴見川流域で戦後2番目の雨量を記録しました。
- 鶴見川多目的遊水地で154万m<sup>3</sup>(過去最大)を貯留するなど、これまで講じてきた対策が効果を発揮し、戦後3番目の雨量を記録した昭和41年台風4号(浸水戸数11,840戸)より雨量が多かったものの、浸水戸数は6戸でした。



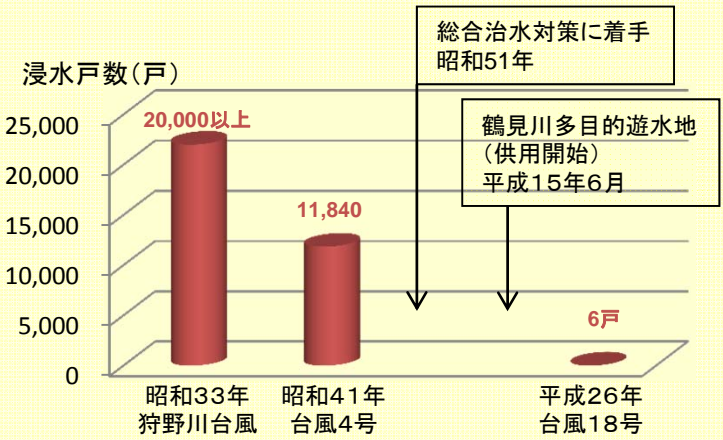
鶴見川多目的遊水地は、平常時には公園等として利用



鶴見川の水位が上昇し、越流堤から鶴見川多目的遊水地に流入



過去最大となる154万m<sup>3</sup>を貯留した鶴見川多目的遊水地



平成26年台風18号では、昭和41年台風4号より雨量が多かったものの、浸水戸数は6戸

※ 本資料の数値等は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。  
 ※※ 雨量については、流域平均2日雨量。  
 ※※※ 洪水の形態は、降雨の時間分布や地域分布等による影響を受けますが、本資料では流域平均2日雨量で比較しています。